

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月29日	記入者		連絡先	3374
平成18年度部名	土木部	課名	河川整備課	課長名	神保政雄
平成19年度部名	土木部	課名	河川整備課	課長名	神保政雄
事務事業名	河川維持補修事業				
予算上の事務事業名	河川維持補修費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32510		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第5節 河川の整備				
施策名	第1施策 治水対策の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	河川法（第1条、第2条、第16条の3、第100条）				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）		
破損及び老朽化した河川施設（護岸・転落防止柵等）を維持補修することにより、治水機能を保持し、浸水被害の解消と市民生活の安全を確保する。			管理河川沿線住民		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
護岸修繕ほか17件 7,973千円					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	2,289	7,359	7,973	7,500	7,500
一般財源	2,289	7,359	7,973	7,500	7,500
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	126	126	126	126	126
事業コスト合計	2,415	7,485	8,099	7,626	7,626
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 （主たる事業名）	河川維持補修			対象名称 と単位	補修件数
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	2,415	7,485	8,099	7,626	7,626
対象数	11	21	17	20	20
単位あたり経費(円)	219,545	356,429	476,412	381,300	381,300
前年度比		1.62	1.34	0.80	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	処理率（％）	指標式と指標の説明		(処理件数/目標値)*100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	11.0	21.0	17.0		
目標	11.0	11.0	21.0	21.0	21.0
目標達成度(%)	100.0	190.9	81.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	補修率（％）	指標式と指標の説明		(要望処理件数/目標値)*100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	190.9	81.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	100.0	190.9	81.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		治水機能や市民の安全を維持する為に必要不可欠な事業下ある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
定期的なパトロールの実施			河川施設は、工事完了後相当年数を経過しているところもあり、護岸やフェンス等河川施設の老朽化が目立つようになり、今後維持修繕等の工事費が増加することが見込まれる。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・危険箇所の的確な把握に努め、老朽化した護岸やフェンス等の河川施設の計画的な維持補修工事を進める。 ・パトロール体制等への再任用職員などの活用について検討する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			